

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年8月27日から2022年5月17日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（CB）等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）</li> <li>・クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）</li> </ul> ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。
	為替ヘッジなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）</li> <li>・クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）</li> </ul> ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）／クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）	アジア（除く日本）のCBを主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## 運用報告書（全体版）

### アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型） （為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

第100期（決算日 2020年12月17日） 第103期（決算日 2021年3月17日）  
 第101期（決算日 2021年1月18日） 第104期（決算日 2021年4月19日）  
 第102期（決算日 2021年2月17日） 第105期（決算日 2021年5月17日）

#### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
 皆様の「アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）」は、2021年5月17日に第105期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第100期～第105期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。  
 今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
 フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

【為替ヘッジあり】

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 組入比率	クレディ・スイス・ アジアCBファンド (円ヘッジクラス) 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
76期(2018年12月17日)	7,546	50	0.6	259.506	1.4	82.7	10.4	1,295
77期(2019年1月17日)	7,551	50	0.7	263.097	1.4	82.9	10.3	1,299
78期(2019年2月18日)	7,645	50	1.9	270.231	2.7	86.4	10.6	1,266
79期(2019年3月18日)	7,740	40	1.8	277.118	2.5	84.9	10.9	1,254
80期(2019年4月17日)	7,742	40	0.5	280.230	1.1	85.0	11.2	1,230
81期(2019年5月17日)	7,657	40	△0.6	280.824	0.2	84.5	11.2	1,205
82期(2019年6月17日)	7,653	40	0.5	283.196	0.8	84.5	11.0	1,219
83期(2019年7月17日)	7,687	40	1.0	286.640	1.2	83.3	10.9	1,244
84期(2019年8月19日)	7,532	40	△1.5	283.567	△1.1	86.0	12.0	1,231
85期(2019年9月17日)	7,541	40	0.7	286.100	0.9	86.0	12.1	1,284
86期(2019年10月17日)	7,504	40	0.0	287.606	0.5	85.7	12.0	1,285
87期(2019年11月18日)	7,517	40	0.7	289.983	0.8	87.2	12.0	1,246
88期(2019年12月17日)	7,481	40	0.1	289.942	△0.0	87.5	11.8	1,235
89期(2020年1月17日)	7,538	40	1.3	296.607	2.3	86.3	12.1	1,235
90期(2020年2月17日)	7,493	40	△0.1	297.680	0.4	85.8	12.0	1,237
91期(2020年3月17日)	6,908	40	△7.3	272.574	△8.4	86.8	12.2	1,127
92期(2020年4月17日)	6,712	40	△2.3	273.114	0.2	87.3	11.8	1,084
93期(2020年5月18日)	6,818	40	2.2	279.164	2.2	86.4	12.0	1,100
94期(2020年6月17日)	6,967	40	2.8	289.826	3.8	89.0	11.7	1,109
95期(2020年7月17日)	7,053	40	1.8	293.758	1.4	86.4	11.9	1,131
96期(2020年8月17日)	7,145	40	1.9	300.661	2.3	86.5	11.9	1,148
97期(2020年9月17日)	7,146	40	0.6	302.396	0.6	87.0	12.1	1,143
98期(2020年10月19日)	7,093	40	△0.2	298.555	△1.3	87.1	12.1	1,130
99期(2020年11月17日)	7,130	40	1.1	302.871	1.4	86.5	12.6	1,135
100期(2020年12月17日)	7,195	40	1.5	310.520	2.5	86.5	12.5	1,096
101期(2021年1月18日)	7,199	40	0.6	311.811	0.4	85.4	12.8	1,102
102期(2021年2月17日)	7,224	40	0.9	313.646	0.6	84.1	12.9	1,105
103期(2021年3月17日)	7,146	40	△0.5	314.664	0.3	86.7	12.0	1,069
104期(2021年4月19日)	7,140	40	0.5	313.351	△0.4	86.0	12.3	1,075
105期(2021年5月17日)	7,067	40	△0.5	317.817	1.4	86.7	12.1	1,061

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は、当該日前営業日の現地終値です。

(注) 「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」と「クレディ・スイス・アジアCBファンド(円ヘッジクラス)」の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 組 入 比 率	クレディ・スイス・ アジアCBファンド (円ヘッジクラス) 組 入 比 率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第100期	(期 首) 2020年11月17日	円 7,130	% -	ポイント 302.871	% -	% 86.5	% 12.6
	11月末	7,168	0.5	305.467	0.9	86.3	12.4
	(期 末) 2020年12月17日	7,235	1.5	310.520	2.5	86.5	12.5
第101期	(期 首) 2020年12月17日	7,195	-	310.520	-	86.5	12.5
	12月末	7,231	0.5	312.653	0.7	85.9	12.2
	(期 末) 2021年1月18日	7,239	0.6	311.811	0.4	85.4	12.8
第102期	(期 首) 2021年1月18日	7,199	-	311.811	-	85.4	12.8
	1月末	7,238	0.5	312.809	0.3	85.6	12.1
	(期 末) 2021年2月17日	7,264	0.9	313.646	0.6	84.1	12.9
第103期	(期 首) 2021年2月17日	7,224	-	313.646	-	84.1	12.9
	2月末	7,226	0.0	315.650	0.6	85.2	12.1
	(期 末) 2021年3月17日	7,186	△0.5	314.664	0.3	86.7	12.0
第104期	(期 首) 2021年3月17日	7,146	-	314.664	-	86.7	12.0
	3月末	7,160	0.2	313.190	△0.5	85.8	12.2
	(期 末) 2021年4月19日	7,180	0.5	313.351	△0.4	86.0	12.3
第105期	(期 首) 2021年4月19日	7,140	-	313.351	-	86.0	12.3
	4月末	7,148	0.1	316.299	0.9	86.2	12.4
	(期 末) 2021年5月17日	7,107	△0.5	317.817	1.4	86.7	12.1

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

【為替ヘッジなし】

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 組入比率	クレディ・スイス・ アジアCBファンド (ヘッジなしクラス) 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
76期(2018年12月17日)	8,273	120	1.4	29,446.16	2.1	83.3	10.4	21,510
77期(2019年1月17日)	7,930	120	△ 2.7	28,669.66	△ 2.6	85.1	10.9	19,656
78期(2019年2月18日)	8,096	120	3.6	29,871.33	4.2	87.3	10.7	18,763
79期(2019年3月18日)	8,271	60	2.9	30,920.79	3.5	84.3	11.3	18,186
80期(2019年4月17日)	8,316	60	1.3	31,425.00	1.6	85.8	11.4	17,037
81期(2019年5月17日)	8,076	60	△ 2.2	30,890.60	△ 1.7	84.4	11.4	16,254
82期(2019年6月17日)	7,978	60	△ 0.5	30,772.06	△ 0.4	84.6	11.4	16,093
83期(2019年7月17日)	7,994	60	1.0	31,048.84	0.9	84.8	11.6	15,909
84期(2019年8月19日)	7,694	60	△ 3.0	30,174.39	△ 2.8	86.4	11.8	14,975
85期(2019年9月17日)	7,823	60	2.5	30,956.02	2.6	86.8	12.1	15,123
86期(2019年10月17日)	7,823	60	0.8	31,274.28	1.0	86.7	11.8	14,561
87期(2019年11月18日)	7,838	60	1.0	31,555.92	0.9	86.5	11.8	14,618
88期(2019年12月17日)	7,849	60	0.9	31,766.06	0.7	85.6	11.8	14,923
89期(2020年1月17日)	7,959	60	2.2	32,724.64	3.0	84.4	12.1	15,585
90期(2020年2月17日)	7,865	60	△ 0.4	32,685.23	△ 0.1	85.8	12.1	15,350
91期(2020年3月17日)	7,018	60	△10.0	29,056.41	△11.1	86.6	12.2	13,608
92期(2020年4月17日)	6,926	60	△ 0.5	29,479.95	1.5	87.1	11.9	13,330
93期(2020年5月18日)	6,977	60	1.6	29,923.61	1.5	86.4	12.0	13,454
94期(2020年6月17日)	7,145	40	3.0	31,112.79	4.0	86.1	12.0	13,859
95期(2020年7月17日)	7,236	40	1.8	31,514.40	1.3	86.4	12.3	13,970
96期(2020年8月17日)	7,294	40	1.4	32,035.42	1.7	86.7	12.1	14,040
97期(2020年9月17日)	7,197	40	△ 0.8	31,772.73	△ 0.8	87.0	12.2	13,783
98期(2020年10月19日)	7,171	40	0.2	31,467.65	△ 1.0	86.9	12.1	13,640
99期(2020年11月17日)	7,155	40	0.3	31,643.96	0.6	86.6	12.6	13,552
100期(2020年12月17日)	7,155	40	0.6	32,120.22	1.5	86.7	12.5	13,399
101期(2021年1月18日)	7,191	40	1.1	32,375.36	0.8	86.2	12.8	13,372
102期(2021年2月17日)	7,376	40	3.1	33,299.79	2.9	85.7	12.4	13,583
103期(2021年3月17日)	7,501	40	2.2	34,342.37	3.1	87.2	12.0	13,597
104期(2021年4月19日)	7,472	40	0.1	34,048.68	△ 0.9	86.3	12.3	13,220
105期(2021年5月17日)	7,453	40	0.3	34,785.10	2.2	87.0	12.2	13,057

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注)「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」と「クレディ・スイス・アジアCBファンド(ヘッジなしクラス)」の組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		アジア・ハイ・イールド 債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 組 入 比 率	クレディ・スイス・ アジアCBファンド (ヘッジなしクラス) 組 入 比 率
		騰落率	(参考指数)	騰落率			
第100期	(期 首) 2020年11月17日	円	%	ポイント	%	%	%
		7,155	—	31,643.96	—	86.6	12.6
	11月末	7,153	△0.0	31,735.01	0.3	86.6	12.6
第101期	(期 末) 2020年12月17日		0.6	32,120.22	1.5	86.7	12.5
		7,195					
	(期 首) 2020年12月17日	7,155	—	32,120.22	—	86.7	12.5
第102期	12月末	7,199	0.6	32,359.53	0.7	86.3	12.5
	(期 末) 2021年1月18日	7,231	1.1	32,375.36	0.8	86.2	12.8
第103期	(期 首) 2021年1月18日	7,191	—	32,375.36	—	86.2	12.8
	1月末	7,273	1.1	32,682.31	0.9	86.4	12.2
	(期 末) 2021年2月17日	7,416	3.1	33,299.79	2.9	85.7	12.4
第104期	(期 首) 2021年2月17日	7,376	—	33,299.79	—	85.7	12.4
	2月末	7,388	0.2	33,537.81	0.7	85.8	12.2
	(期 末) 2021年3月17日	7,541	2.2	34,342.37	3.1	87.2	12.0
第105期	(期 首) 2021年3月17日	7,501	—	34,342.37	—	87.2	12.0
	3月末	7,622	1.6	34,673.25	1.0	86.5	12.2
	(期 末) 2021年4月19日	7,512	0.1	34,048.68	△0.9	86.3	12.3
第106期	(期 首) 2021年4月19日	7,472	—	34,048.68	—	86.3	12.3
	4月末	7,500	0.4	34,454.47	1.2	86.6	12.5
	(期 末) 2021年5月17日	7,493	0.3	34,785.10	2.2	87.0	12.2

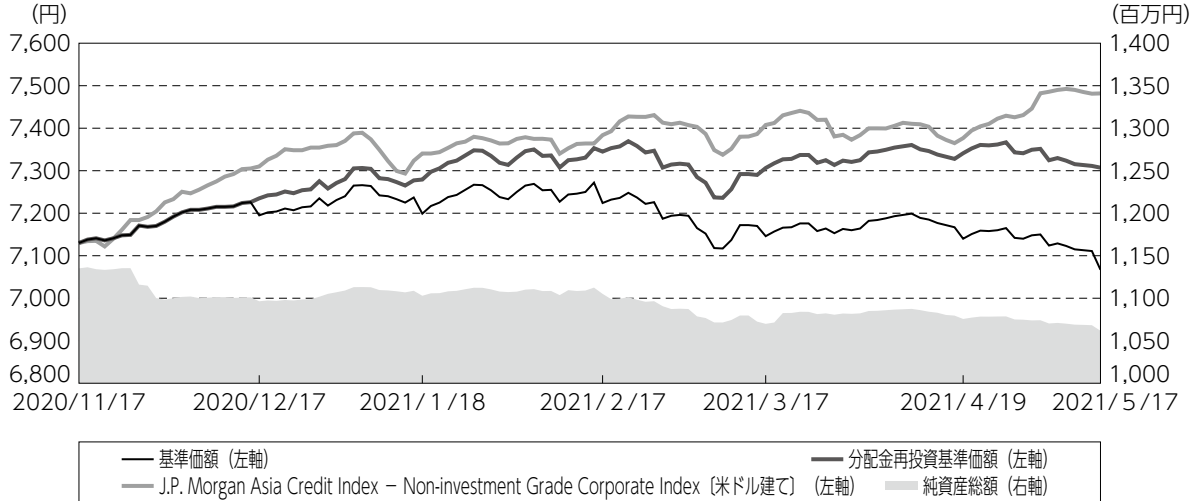
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2020年11月18日～2021年5月17日)

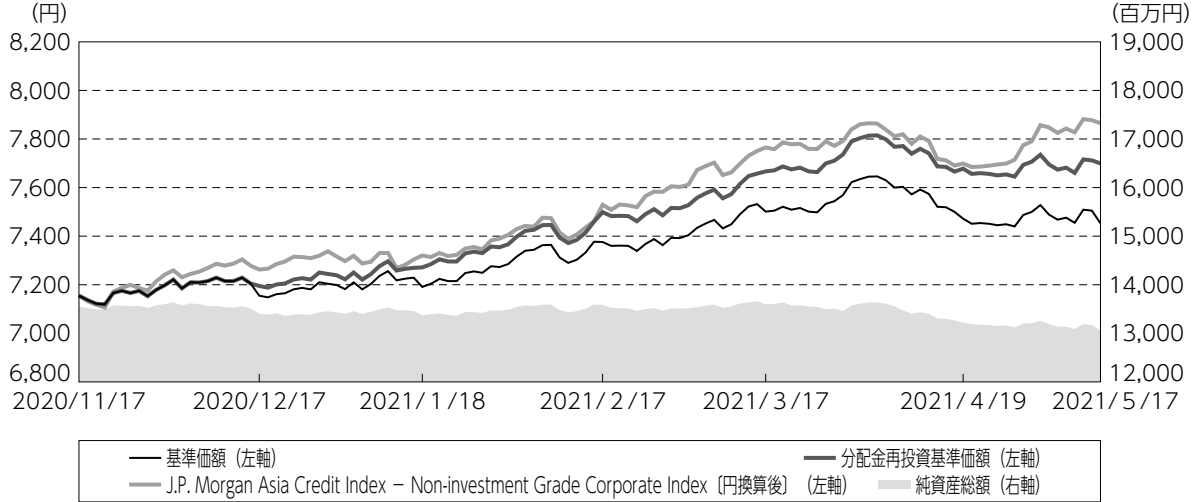
【為替ヘッジあり】



第100期首：7,130円  
 第105期末：7,067円（既払分配金（税引前）：240円）  
 騰落率：2.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2020年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



第100期首：7,155円  
 第105期末：7,453円（既払分配金（税引前）：240円）  
 騰落率：7.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2020年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

<アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）
  - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
  - ・投資対象としたマザーファンドにおいて、保有債券の価格上昇がプラス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）
  - ・INNOLUX 0% 2025やEVERGREEN MARINE 0% 2025などがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）
  - ・特にありません。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）
  - ・XIAOMI CORP-B 0% 2027やXD INC 1.25% 2026などがマイナス要因となりました。

<アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
  - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
  - ・投資対象としたマザーファンドにおいて、保有債券の価格上昇がプラス要因となりました。
  - ・為替市場で米ドルが対円で上昇したことがプラス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）
  - ・INNOLUX 0% 2025やEVERGREEN MARINE 0% 2025などがプラス要因となりました。
  - ・為替市場で米ドルが対円で上昇したことがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
  - ・特にありません。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）
  - ・XIAOMI CORP-B 0% 2027やXD INC 1.25% 2026などがマイナス要因となりました。



**投資環境**

（2020年11月18日～2021年5月17日）

当作成期のアジア・ハイ・イールド債券市場は、上昇しました。作成期初から2020年12月にかけては、米国で追加経済対策が成立したことや、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴い景気が回復するとの見方が広がったことなどを背景に上昇しました。2021年1月以降は、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン普及の動向に加え、米国の追加経済対策の成立、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和の長期化観測などが市場の変動要因となった中、アジア・ハイ・イールド債券市場は一進一退の動きが続きましたが、作成期末にかけては再び上昇しました。

アジアCB市場は、上昇しました。2020年終盤には米国大統領選の結果への期待や、新型コロナウイルスのワクチンの開発や接種プログラムの進展などから、上昇しました。2021年1月以降、ワクチン配布の進展による世界の経済活動正常化への期待感や、米国における追加経済政策などから、上昇傾向が継続しました。さらに、アジアCB市場では、牽引役である中国における良好な経済指標を背景に、グローバルのCB市場を上回る上昇が観察される場面もありました。

為替市場は、米ドルが対円で上昇しました。米国を中心に新型コロナウイルスのワクチン接種が進展したことなどから、景気回復期待や金融政策の正常化観測が高まる一方、日本については、ワクチンの接種の遅れが意識されたことから、米ドルが対円で上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2020年11月18日～2021年5月17日）

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」および「クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

#### ○クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いました。

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」および「クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

#### ○クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いませんでした。

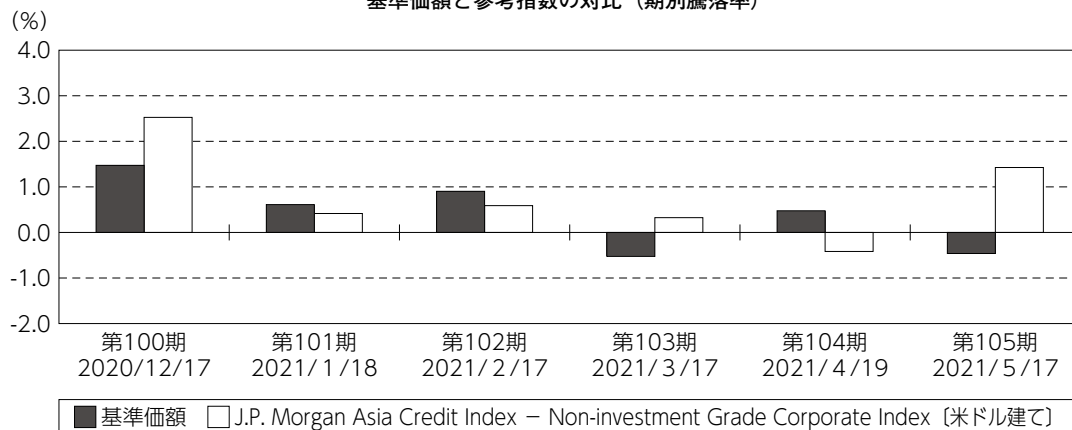
当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年11月18日～2021年5月17日）

【為替ヘッジあり】

当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]」を2.4%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



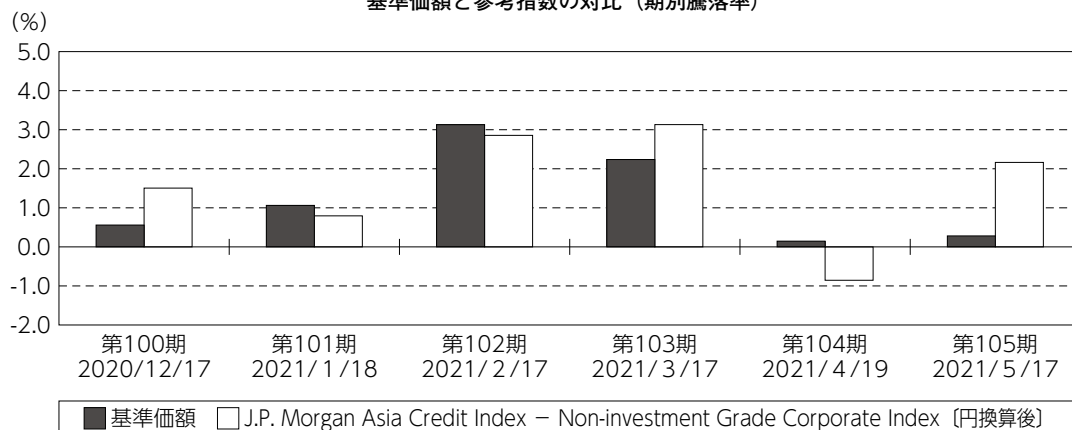
(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。

【為替ヘッジなし】

当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]」を2.3%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。

## 分配金

（2020年11月18日～2021年5月17日）

## &lt;アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）&gt;

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、第100期から第105期の決算期にそれぞれ1万口当たり40円（税引前）、合計240円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2020年11月18日～ 2020年12月17日	2020年12月18日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月17日	2021年2月18日～ 2021年3月17日	2021年3月18日～ 2021年4月19日	2021年4月20日～ 2021年5月17日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.553%	0.553%	0.551%	0.557%	0.557%	0.563%
当期の収益	29	30	25	21	32	23
当期の収益以外	10	9	14	18	7	16
翌期繰越分配対象額	284	275	260	242	235	218

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt;アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）&gt;

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、第100期から第105期の決算期にそれぞれ1万口当たり40円（税引前）、合計240円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2020年11月18日～ 2020年12月17日	2020年12月18日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月17日	2021年2月18日～ 2021年3月17日	2021年3月18日～ 2021年4月19日	2021年4月20日～ 2021年5月17日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.556%	0.553%	0.539%	0.530%	0.532%	0.534%
当期の収益	26	32	27	27	40	25
当期の収益以外	13	7	12	12	—	14
翌期繰越分配対象額	333	326	314	302	302	288

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」と「クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

#### ○クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

### <アジア ハイ・イールド・プラス（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」と「クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

#### ○クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行いません。

【為替ヘッジあり】

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年11月18日～2021年5月17日)

項 目	第100期～第105期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	46 (17) (27) ( 1)	0.638 (0.240) (0.382) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 ( 0) ( 0)	0.007 (0.007) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	46	0.645	
作成期間中の平均基準価額は、7,195円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

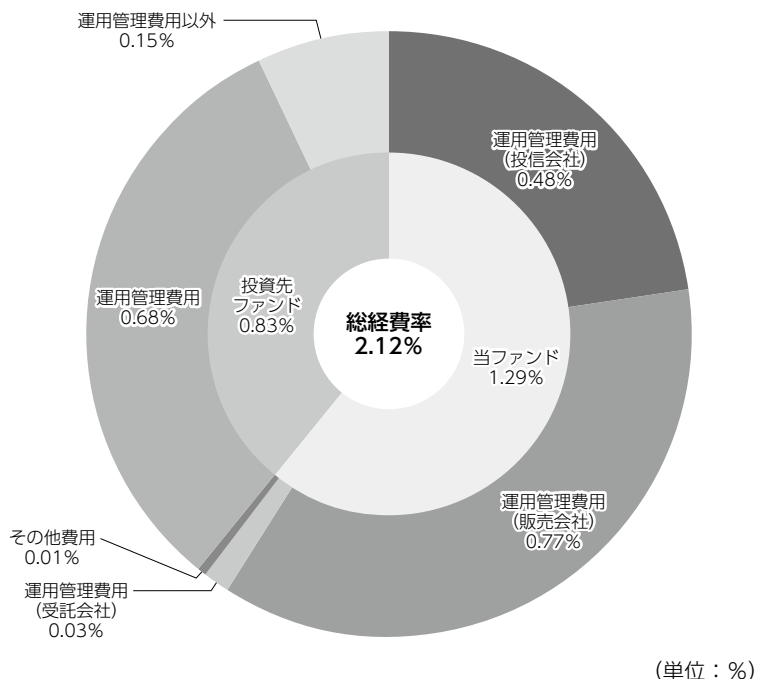
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



総経費率 (①+②+③)	2.12
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2020年11月18日～2021年5月17日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 投資信託証券

銘柄		第 100 期 ～ 第 105 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	クレディ・スイス・アジア C B ファンド（円ヘッジクラス）	—	—	2,481	27,000
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	—	—	67,900,238	53,000
	合 計	—	—	67,902,719	80,000

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2020年11月18日～2021年5月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2021年5月17日現在）

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 99 期 末	第 105 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
ク レ ド イ ・ ス イ ス ・ ア ジ ア C B フ ア ン ド （ 円 ヘ ッ ジ ク ラ ス ）		口	口	千円	%
	14,095	11,614	128,249	12.1	
	ア ジ ア ・ ハ イ ・ イ ー ル ド 債 券 フ ア ン ド F （ 為 替 ヘ ッ ジ あ り ） （ 適 格 機 関 投 資 家 専 用 ）	1,264,968,473	1,197,068,235	920,306	86.7
合 計	1,264,982,568	1,197,079,849	1,048,555	98.8	

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。



○投資信託財産の構成

（2021年5月17日現在）

項 目	第 105 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,048,555	% 98.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	20,252	1.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,068,807	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2020年12月17日現在	2021年1月18日現在	2021年2月17日現在	2021年3月17日現在	2021年4月19日現在	2021年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,105,561,049	1,110,278,112	1,113,792,008	1,083,847,852	1,084,751,870	1,068,807,293
コール・ローン等	19,890,471	27,317,598	41,005,780	27,093,299	27,722,700	20,251,812
投資信託受益証券（評価額）	1,085,670,578	1,082,960,514	1,072,786,228	1,056,754,553	1,057,029,170	1,048,555,481
(B) 負債	9,158,404	7,388,623	8,661,919	13,994,206	9,139,264	7,080,356
未払収益分配金	6,095,101	6,128,348	6,119,271	5,988,562	6,025,440	6,009,282
未払解約金	1,872,772	776	1,357,842	6,920,413	1,841,039	253
未払信託報酬	1,178,390	1,246,613	1,172,646	1,074,104	1,259,775	1,059,915
未払利息	14	19	15	13	10	6
その他未払費用	12,127	12,867	12,145	11,114	13,000	10,900
(C) 純資産総額(A－B)	1,096,402,645	1,102,889,489	1,105,130,089	1,069,853,646	1,075,612,606	1,061,726,937
元本	1,523,775,268	1,532,087,222	1,529,817,844	1,497,140,657	1,506,360,032	1,502,320,671
次期繰越損益金	△ 427,372,623	△ 429,197,733	△ 424,687,755	△ 427,287,011	△ 430,747,426	△ 440,593,734
(D) 受益権総口数	1,523,775,268口	1,532,087,222口	1,529,817,844口	1,497,140,657口	1,506,360,032口	1,502,320,671口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,195円	7,199円	7,224円	7,146円	7,140円	7,067円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第100期427,372,623円、第101期429,197,733円、第102期424,687,755円、第103期427,287,011円、第104期430,747,426円、第105期440,593,734円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第100期0.7195円、第101期0.7199円、第102期0.7224円、第103期0.7146円、第104期0.7140円、第105期0.7067円です。

（注）当ファンドの第100期首元本額は1,592,069,877円、第100～105期中追加設定元本額は29,570,372円、第100～105期中一部解約元本額は119,319,578円です。

○損益の状況

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2020年11月18日～ 2020年12月17日	2020年12月18日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月17日	2021年2月18日～ 2021年3月17日	2021年3月18日～ 2021年4月19日	2021年4月20日～ 2021年5月17日
(A) 配当等収益	4,859,692	5,565,506	4,352,806	4,301,013	6,180,825	4,548,673
受取配当金	4,859,950	5,565,813	4,353,045	4,301,311	6,181,123	4,548,859
受取利息	66	30	20	6	—	—
支払利息	△ 324	△ 337	△ 259	△ 304	△ 298	△ 186
(B) 有価証券売買損益	12,418,501	2,289,221	6,812,314	△ 8,890,332	273,399	△ 8,469,960
売買益	12,537,311	8,703,490	8,654,569	154,637	3,148,316	3,755
売買損	△ 118,810	△ 6,414,269	△ 1,842,255	△ 9,044,969	△ 2,874,917	△ 8,473,715
(C) 信託報酬等	△ 1,190,536	△ 1,259,512	△ 1,184,819	△ 1,085,264	△ 1,272,809	△ 1,070,845
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	16,087,657	6,595,215	9,980,301	△ 5,674,583	5,181,415	△ 4,992,132
(E) 前期繰越損益金	△249,634,090	△237,821,340	△234,828,377	△223,641,000	△231,872,460	△231,030,165
(F) 追加信託差損益金	△187,731,089	△191,843,260	△193,720,408	△191,982,866	△198,030,941	△198,562,155
(配当等相当額)	( 44,945,305)	( 43,611,594)	( 42,104,584)	( 39,027,447)	( 36,477,964)	( 35,319,540)
(売買損益相当額)	(△232,676,394)	(△235,454,854)	(△235,824,992)	(△231,010,313)	(△234,508,905)	(△233,881,695)
(G) 計 (D + E + F)	△421,277,522	△423,069,385	△418,568,484	△421,298,449	△424,721,986	△434,584,452
(H) 収益分配金	△ 6,095,101	△ 6,128,348	△ 6,119,271	△ 5,988,562	△ 6,025,440	△ 6,009,282
次期繰越損益金 (G + H)	△427,372,623	△429,197,733	△424,687,755	△427,287,011	△430,747,426	△440,593,734
追加信託差損益金	△189,301,396	△193,298,592	△195,948,834	△194,755,679	△199,094,398	△201,093,609
(配当等相当額)	( 43,374,998)	( 42,156,262)	( 39,876,158)	( 36,254,634)	( 35,414,507)	( 32,788,086)
(売買損益相当額)	(△232,676,394)	(△235,454,854)	(△235,824,992)	(△231,010,313)	(△234,508,905)	(△233,881,695)
繰越損益金	△238,071,227	△235,899,141	△228,738,921	△232,531,332	△231,653,028	△239,500,125

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(a) 配当等収益(費用控除後)	4,524,794円	4,673,016円	3,890,845円	3,215,749円	4,961,983円	3,477,828円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	44,945,305円	43,611,594円	42,104,584円	39,027,447円	36,477,964円	35,319,540円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
分配対象収益 (a + b + c + d)	49,470,099円	48,284,610円	45,995,429円	42,243,196円	41,439,947円	38,797,368円
分配対象収益(1万円当たり)	324円	315円	300円	282円	275円	258円
分配金額	6,095,101円	6,128,348円	6,119,271円	5,988,562円	6,025,440円	6,009,282円
分配金額(1万円当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1(万)口当たり基準価額</b>	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
1万口当たり分配金（税引前）	40円	40円	40円	40円	40円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

### <お知らせ>

該当事項はございません。

【為替ヘッジなし】

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年11月18日～2021年5月17日）

項 目	第100期～第105期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	47 (18) (28) ( 1)	0.638 (0.240) (0.382) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 ( 0) ( 0)	0.007 (0.007) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	47	0.645	
作成期間中の平均基準価額は、7,355円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

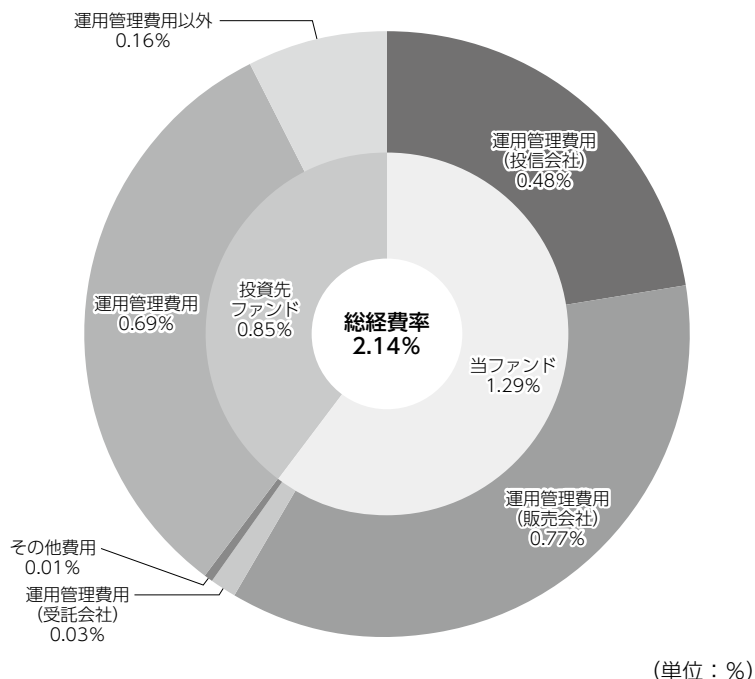
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



総経費率 (①+②+③)	2.14
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年11月18日～2021年5月17日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘柄		第 100 期 ～ 第 105 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	クレディ・スイス・アジア C B ファンド（ヘッジなしクラス）	—	—	29,124	335,000
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	—	—	729,567,549	850,000
	合 計	—	—	729,596,673	1,185,000

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年11月18日～2021年5月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2021年5月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 99 期 末	第 105 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
国内	クレディ・スイス・アジア C B ファンド（ヘッジなしクラス）	162,860	133,735	1,591,850	12.2
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	10,370,084,493	9,640,516,944	11,366,169	87.0
	合 計	10,370,247,353	9,640,650,679	12,958,019	99.2

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2021年5月17日現在）

項 目	第 105 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 12,958,019	% 98.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	244,944	1.9
投 資 信 託 財 産 総 額	13,202,963	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
	2020年12月17日現在	2021年1月18日現在	2021年2月17日現在	2021年3月17日現在	2021年4月19日現在	2021年5月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	13,519,037,735	13,518,989,099	13,688,417,565	13,754,065,986	13,342,418,809	13,202,963,521
コール・ローン等	223,117,617	279,129,220	276,294,964	271,358,735	306,534,417	244,943,930
投資信託受益証券（評価額）	13,295,920,118	13,239,859,879	13,322,122,601	13,482,707,251	13,035,884,392	12,958,019,591
未収入金	—	—	90,000,000	—	—	—
(B) 負債	119,122,810	146,027,239	104,934,999	156,867,853	122,013,456	145,460,754
未払収益分配金	74,911,805	74,389,098	73,665,148	72,507,375	70,771,957	70,079,557
未払解約金	29,729,635	56,325,272	16,872,965	70,851,417	35,366,204	62,235,291
未払信託報酬	14,333,703	15,156,359	14,249,643	13,370,649	15,713,049	13,011,955
未払利息	166	201	106	133	120	78
その他未払費用	147,501	156,309	147,137	138,279	162,126	133,873
(C) 純資産総額（A－B）	13,399,914,925	13,372,961,860	13,583,482,566	13,597,198,133	13,220,405,353	13,057,502,767
元本	18,727,951,445	18,597,274,608	18,416,287,146	18,126,843,876	17,692,989,265	17,519,889,468
次期繰越損益金	△ 5,328,036,520	△ 5,224,312,748	△ 4,832,804,580	△ 4,529,645,743	△ 4,472,583,912	△ 4,462,386,701
(D) 受益権総口数	18,727,951,445口	18,597,274,608口	18,416,287,146口	18,126,843,876口	17,692,989,265口	17,519,889,468口
1万口当たり基準価額（C/D）	7,155円	7,191円	7,376円	7,501円	7,472円	7,453円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第100期5,328,036,520円、第101期5,224,312,748円、第102期4,832,804,580円、第103期4,529,645,743円、第104期4,472,583,912円、第105期4,462,386,701円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第100期0.7155円、第101期0.7191円、第102期0.7376円、第103期0.7501円、第104期0.7472円、第105期0.7453円です。

（注）当ファンドの第100期首元本額は18,941,629,764円、第100～105期中追加設定元本額は492,884,091円、第100～105期中一部解約元本額は1,914,624,387円です。



○損益の状況

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2020年11月18日～ 2020年12月17日	2020年12月18日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月17日	2021年2月18日～ 2021年3月17日	2021年3月18日～ 2021年4月19日	2021年4月20日～ 2021年5月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	59,706,748	67,101,560	52,761,114	52,817,963	87,682,533	57,068,831
受取配当金	59,709,933	67,104,692	52,763,012	52,820,864	87,685,094	57,070,868
受取利息		246	159	64	9	-
支払利息	△ 3,391	△ 3,378	△ 2,057	△ 2,965	△ 2,570	△ 2,037
(B) 有価証券売買損益	29,557,858	88,637,055	375,317,928	260,045,903	△ 53,124,815	△ 7,544,640
売買益	30,154,685	112,506,087	377,261,778	307,219,865	28,967,824	24,459,346
売買損	△ 596,827	△ 23,869,032	△ 1,943,850	△ 47,173,962	△ 82,092,639	△ 32,003,986
(C) 信託報酬等	△ 14,481,524	△ 15,313,123	△ 14,397,059	△ 13,509,323	△ 15,875,435	△ 13,146,192
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	74,783,082	140,425,492	413,681,983	299,354,543	18,682,283	36,377,999
(E) 前期繰越損益金	△ 2,251,724,946	△ 2,199,934,415	△ 2,090,916,962	△ 1,697,786,624	△ 1,403,219,400	△ 1,433,025,255
(F) 追加信託差損益金	△ 3,076,182,851	△ 3,090,414,727	△ 3,081,904,453	△ 3,058,706,287	△ 3,017,274,838	△ 2,995,659,888
(配当等相当額)	( 650,340,033)	( 621,152,448)	( 601,387,311)	( 569,673,870)	( 534,832,922)	( 529,727,028)
(売買損益相当額)	(△ 3,726,522,884)	(△ 3,711,567,175)	(△ 3,683,291,764)	(△ 3,628,380,157)	(△ 3,552,107,760)	(△ 3,525,386,916)
(G) 計 (D + E + F)	△ 5,253,124,715	△ 5,149,923,650	△ 4,759,139,432	△ 4,457,138,368	△ 4,401,811,955	△ 4,392,307,144
(H) 収益分配金	△ 74,911,805	△ 74,389,098	△ 73,665,148	△ 72,507,375	△ 70,771,957	△ 70,079,557
次期繰越損益金 (G + H)	△ 5,328,036,520	△ 5,224,312,748	△ 4,832,804,580	△ 4,529,645,743	△ 4,472,583,912	△ 4,462,386,701
追加信託差損益金	△ 3,101,074,599	△ 3,104,300,690	△ 3,104,583,644	△ 3,080,676,073	△ 3,017,274,838	△ 3,020,664,326
(配当等相当額)	( 625,448,285)	( 607,266,485)	( 578,708,120)	( 547,704,084)	( 534,832,922)	( 504,722,590)
(売買損益相当額)	(△ 3,726,522,884)	(△ 3,711,567,175)	(△ 3,683,291,764)	(△ 3,628,380,157)	(△ 3,552,107,760)	(△ 3,525,386,916)
分配準備積立金	-	-	-	-	1,035,141	-
繰越損益金	△ 2,226,961,921	△ 2,120,012,058	△ 1,728,220,936	△ 1,448,969,670	△ 1,456,344,215	△ 1,441,722,375

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(a) 配当等収益(費用控除後)	50,020,057円	60,503,135円	50,985,957円	50,537,589円	71,807,098円	43,922,639円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	650,340,033円	621,152,448円	601,387,311円	569,673,870円	534,832,922円	529,727,028円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	1,152,480円
分配対象収益(a + b + c + d)	700,360,090円	681,655,583円	652,373,268円	620,211,459円	606,640,020円	574,802,147円
分配対象収益(1万口当たり)	373円	366円	354円	342円	342円	328円
分配金額	74,911,805円	74,389,098円	73,665,148円	72,507,375円	70,771,957円	70,079,557円
分配金額(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

## ○分配金のお知らせ

	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
1 万口当たり分配金（税引前）	40円	40円	40円	40円	40円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

### <お知らせ>

該当事項はございません。

# アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第108期(決算日:2020年12月9日) 第111期(決算日:2021年3月9日)  
第109期(決算日:2021年1月12日) 第112期(決算日:2021年4月9日)  
第110期(決算日:2021年2月9日) 第113期(決算日:2021年5月10日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は、去る5月10日に第113期の決算を行いました。  
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきまして、もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 <sup>※1</sup> の高利回り社債 <sup>※2</sup> および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1アジア諸国とは、運用要件がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&amp;P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクを抑えます。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注)当報告書における比率は、表示相米四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorgan.com/jp/am/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債組入比率	債券 先物比率	純資産額
		税分	込配	み騰 金落 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
84期(2018年12月10日)	7,924	48	0.1	93.9	—	1,213	
85期(2019年1月9日)	7,913	43	0.4	92.9	—	1,167	
86期(2019年2月12日)	8,101	49	3.0	93.2	—	1,192	
87期(2019年3月11日)	8,172	42	1.4	97.7	—	1,156	
88期(2019年4月9日)	8,261	44	1.6	95.1	—	1,137	
89期(2019年5月9日)	8,246	44	0.4	91.0	—	1,115	
90期(2019年6月10日)	8,185	46	△ 0.2	91.7	—	1,097	
91期(2019年7月9日)	8,284	42	1.7	95.5	—	1,123	
92期(2019年8月9日)	8,139	47	△ 1.2	89.9	—	1,133	
93期(2019年9月9日)	8,065	45	△ 0.4	93.1	—	1,179	
94期(2019年10月9日)	8,077	44	0.7	94.7	—	1,182	
95期(2019年11月11日)	8,097	49	0.9	96.3	—	1,171	
96期(2019年12月9日)	8,075	29	0.1	92.7	—	1,161	
97期(2020年1月9日)	8,124	46	1.2	92.1	—	1,146	
98期(2020年2月10日)	8,092	45	0.2	93.5	—	1,136	
99期(2020年3月9日)	8,004	40	△ 0.6	86.5	—	1,123	
100期(2020年4月9日)	7,055	46	△ 11.3	95.3	—	990	
101期(2020年5月11日)	7,282	45	3.9	90.3	—	1,010	
102期(2020年6月9日)	7,596	41	4.9	93.9	—	1,070	
103期(2020年7月9日)	7,645	40	1.2	92.2	—	1,053	
104期(2020年8月11日)	7,750	44	1.9	92.9	—	1,067	
105期(2020年9月9日)	7,779	39	0.9	94.1	—	1,074	
106期(2020年10月9日)	7,733	40	△ 0.1	94.2	—	1,061	
107期(2020年11月9日)	7,738	41	0.6	92.3	—	1,057	
108期(2020年12月9日)	7,819	40	1.6	95.1	—	1,030	
109期(2021年1月12日)	7,783	46	0.1	94.2	—	1,020	
110期(2021年2月9日)	7,751	36	0.1	96.4	—	1,003	
111期(2021年3月9日)	7,699	36	△ 0.2	97.3	—	979	
112期(2021年4月9日)	7,746	42	1.2	96.0	—	985	
113期(2021年5月10日)	7,694	38	△ 0.2	94.5	—	978	

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第108期	(期 首) 2020年11月9日	円 7,738	% —	% —	% 92.3	% —
	11月末	7,804	0.9	—	95.0	—
	(期 末) 2020年12月9日	7,859	1.6	—	95.1	—
第109期	(期 首) 2020年12月9日	7,819	—	—	95.1	—
	12月末	7,860	0.5	—	93.4	—
	(期 末) 2021年1月12日	7,829	0.1	—	94.2	—
第110期	(期 首) 2021年1月12日	7,783	—	—	94.2	—
	1月末	7,834	0.7	—	95.8	—
	(期 末) 2021年2月9日	7,787	0.1	—	96.4	—
第111期	(期 首) 2021年2月9日	7,751	—	—	96.4	—
	2月末	7,803	0.7	—	95.8	—
	(期 末) 2021年3月9日	7,735	△0.2	—	97.3	—
第112期	(期 首) 2021年3月9日	7,699	—	—	97.3	—
	3月末	7,749	0.6	—	96.7	—
	(期 末) 2021年4月9日	7,788	1.2	—	96.0	—
第113期	(期 首) 2021年4月9日	7,746	—	—	96.0	—
	4月末	7,730	△0.2	—	93.2	—
	(期 末) 2021年5月10日	7,732	△0.2	—	94.5	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期首から2020年12月にかけては、米国で追加経済対策が成立したことや、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴い景気が回復するとの見方が広がったことなどを背景に上昇しました。
- ◆2021年1月以降は、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン普及の動向に加え、米国の追加経済対策の成立、FRB(米連邦準備制度理事会)による金融緩和の長期化観測などが市場の変動要因となった中、アジア・ハイ・イールド債券市場は一進一退の動きが続きましたが、作成期末にかけては再び上昇して取引を終えました。
- ◆当作成期中は、景気下支えのため、インドネシアやフィリピンなどで利下げが発表されました。

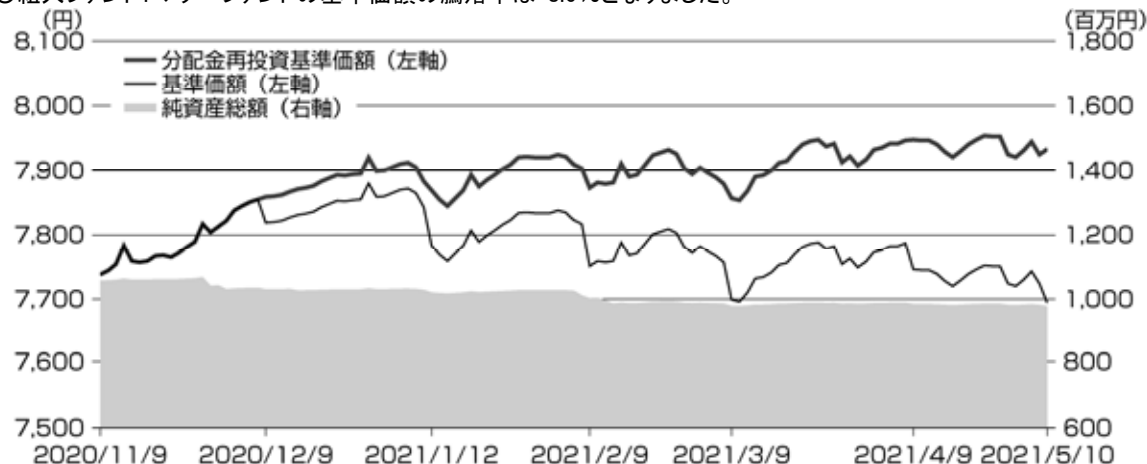
\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+2.5%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+8.6%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

## ◎ポートフォリオについて

### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

### ○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で238円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆4月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で政策金利の据え置きと資産購入の継続が決定されたほか、経済見通しについては、重大なリスクがあるとした前回のFOMCの声明を修正していることから、FRBは、景気が改善方向に向かい、不測の事態による腰折れの可能性が低いと判断していると考えます。
- ◆中国では過剰債務が問題となっている中、国有の不良債権受け皿会社の債務不履行の懸念が高まりましたが、政府が支援を継続したことなどから、同社への懸念が和らぎ、債券市場は落ち着きを取り戻し、発行市場も徐々に再開してきています。
- ◆インドでは、新型コロナウイルスの感染状況が懸念されていますが、インドの社債は比較的底堅い展開となっています。一部で格下げの観測が出ていますが、格付け会社は当面は事態を静観すると見えています。
- ◆各国の経済指標が改善傾向を示していることから、2021年及び2022年は景気の回復基調が継続すると予想しています。アジア・ハイ・イールド債券については、現在の価格水準で、リスクに見合った十分な利回りが得られると思われることなどを背景に、引き続き投資妙味があると考えます。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2020年11月10日～2021年5月10日)

項 目	第108期～第113期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 27	% 0.351	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(26)	(0.329)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 0 )	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.017	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
( 保 管 費 用 )	( 0 )	(0.006)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	28	0.368	
当作成期中の平均基準価額は、7,796円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2020年11月10日～2021年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第108期～第113期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 12,113	千円 29,176	千口 72,260	千円 177,079

(注) 単位未満は切捨てです。



## ○利害関係人との取引状況等

(2020年11月10日～2021年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年11月10日～2021年5月10日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年11月10日～2021年5月10日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2021年5月10日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第107期末		第113期末	
		口	数	口	数
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			千口	千口	千円
			442,019	381,872	974,538

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

## ○投資信託財産の構成

(2021年5月10日現在)

項	目	第113期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		974,538	98.7
コール・ローン等、その他		12,744	1.3
投資信託財産総額		987,282	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(12,733,247千円)の投資信託財産総額(12,891,235千円)に対する比率は98.8%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.77円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末
	2020年12月9日現在	2021年1月12日現在	2021年2月9日現在	2021年3月9日現在	2021年4月9日現在	2021年5月10日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>2,145,265,103</b>	<b>2,074,400,494</b>	<b>2,095,399,054</b>	<b>4,161,848,335</b>	<b>2,026,572,085</b>	<b>4,002,709,515</b>
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	1,042,984,040	1,027,650,755	1,023,712,543	1,019,593,502	998,413,027	974,538,459
未収入金	1,102,281,063	1,046,749,739	1,071,686,511	3,142,254,833	1,028,159,058	3,028,171,056
<b>(B) 負債</b>	<b>1,114,857,777</b>	<b>1,053,709,294</b>	<b>1,092,301,370</b>	<b>3,182,745,793</b>	<b>1,041,562,157</b>	<b>3,024,286,087</b>
未払金	1,108,957,390	1,046,979,913	1,073,572,062	3,177,615,338	1,035,612,751	3,018,847,267
未払収益分配金	5,271,470	6,032,805	4,659,201	4,577,993	5,340,992	4,832,326
未払解約金	—	—	13,500,000	—	—	—
未払信託報酬	609,869	675,479	552,839	535,730	589,989	588,121
その他未払費用	19,048	21,097	17,268	16,732	18,425	18,373
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,030,407,326</b>	<b>1,020,691,200</b>	<b>1,003,097,684</b>	<b>979,102,542</b>	<b>985,009,928</b>	<b>978,423,428</b>
元本	1,317,867,708	1,311,479,565	1,294,222,758	1,271,664,982	1,271,664,982	1,271,664,982
次期繰越損益金	△ 287,460,382	△ 290,788,365	△ 291,125,074	△ 292,562,440	△ 286,655,054	△ 293,241,554
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,317,867,708口</b>	<b>1,311,479,565口</b>	<b>1,294,222,758口</b>	<b>1,271,664,982口</b>	<b>1,271,664,982口</b>	<b>1,271,664,982口</b>
1万円当たり基準価額(C/D)	7,819円	7,783円	7,751円	7,699円	7,746円	7,694円

<注記事項>

期首元本額	1,366,488,221円	1,317,867,708円	1,311,479,565円	1,294,222,758円	1,271,664,982円	1,271,664,982円
期中追加設定元本額	0円	0円	0円	0円	0円	0円
期中一部解約元本額	48,620,513円	6,388,143円	17,256,807円	22,557,776円	0円	0円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受託者報酬	28,589円	31,664円	25,917円	25,114円	27,655円	27,567円
未払委託者報酬	581,280円	643,815円	526,922円	510,616円	562,334円	560,554円

## ○損益の状況

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2020年11月10日～ 2020年12月9日	2020年12月10日～ 2021年1月12日	2021年1月13日～ 2021年2月9日	2021年2月10日～ 2021年3月9日	2021年3月10日～ 2021年4月9日	2021年4月10日～ 2021年5月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	16,485,844	2,008,060	1,066,487	△ 1,381,219	11,856,792	△ 1,147,680
売買益	53,988,081	9,766,908	21,038,296	43,610,838	69,559,910	7,942,708
売買損	△ 37,502,237	△ 7,758,848	△ 19,971,809	△ 44,992,057	△ 57,703,118	△ 9,090,388
(B) 信託報酬等	△ 628,917	△ 696,576	△ 570,107	△ 552,462	△ 608,414	△ 606,494
(C) 当期損益金(A+B)	15,856,927	1,311,484	496,380	△ 1,933,681	11,248,378	△ 1,754,174
(D) 前期繰越損益金	△213,712,619	△201,886,854	△202,997,963	△202,975,715	△208,950,494	△202,597,980
(E) 追加信託差損益金	△ 84,333,220	△ 84,180,190	△ 83,964,290	△ 83,075,051	△ 83,611,946	△ 84,057,074
(配当等相当額)	( 36,754,107)	( 36,320,219)	( 34,950,608)	( 33,767,161)	( 33,230,266)	( 32,785,138)
(売買損益相当額)	(△121,087,327)	(△120,500,409)	(△118,914,898)	(△116,842,212)	(△116,842,212)	(△116,842,212)
(F) 計(C+D+E)	△282,188,912	△284,755,560	△286,465,873	△287,984,447	△281,314,062	△288,409,228
(G) 収益分配金	△ 5,271,470	△ 6,032,805	△ 4,659,201	△ 4,577,993	△ 5,340,992	△ 4,832,326
次期繰越損益金(F+G)	△287,460,382	△290,788,365	△291,125,074	△292,562,440	△286,655,054	△293,241,554
追加信託差損益金	△ 84,590,204	△ 85,083,799	△ 84,548,735	△ 83,611,946	△ 84,057,074	△ 84,649,193
(配当等相当額)	( 36,497,123)	( 35,416,610)	( 34,366,163)	( 33,230,266)	( 32,785,138)	( 32,193,019)
(売買損益相当額)	(△121,087,327)	(△120,500,409)	(△118,914,898)	(△116,842,212)	(△116,842,212)	(△116,842,212)
分配準備積立金	2,146	1,692	—	—	—	—
繰越損益金	△202,872,324	△205,706,258	△206,576,339	△208,950,494	△202,597,980	△208,592,361

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第108期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,014,470円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(36,754,107円)および分配準備積立金(2,162円)より分配対象収益は41,770,739円(10,000口当たり316円)であり、うち5,271,470円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

(注) 第109期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,128,752円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(36,320,219円)および分配準備積立金(2,136円)より分配対象収益は41,451,107円(10,000口当たり316円)であり、うち6,032,805円(10,000口当たり46円)を分配金額としております。

(注) 第110期計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,073,086円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(34,950,608円)および分配準備積立金(1,670円)より分配対象収益は39,025,364円(10,000口当たり301円)であり、うち4,659,201円(10,000口当たり36円)を分配金額としております。

(注) 第111期計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,041,098円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(33,767,161円)より分配対象収益は37,808,259円(10,000口当たり297円)であり、うち4,577,993円(10,000口当たり36円)を分配金額としております。

(注) 第112期計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,895,864円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(33,230,266円)より分配対象収益は38,126,130円(10,000口当たり299円)であり、うち5,340,992円(10,000口当たり42円)を分配金額としております。

(注) 第113期計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,240,207円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(32,785,138円)より分配対象収益は37,025,345円(10,000口当たり291円)であり、うち4,832,326円(10,000口当たり38円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
受託者報酬	28,589円	31,664円	25,917円	25,114円	27,655円	27,567円
委託者報酬	581,280円	643,815円	526,922円	510,616円	562,334円	560,554円

## ○分配金のお知らせ

	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
1万円当たり分配金(税込み)	40円	46円	36円	36円	42円	38円

# アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第108期(決算日:2020年12月9日) 第111期(決算日:2021年3月9日)  
第109期(決算日:2021年1月12日) 第112期(決算日:2021年4月9日)  
第110期(決算日:2021年2月9日) 第113期(決算日:2021年5月10日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、去る5月10日に第113期の決算を行いました。  
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきましてそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 <sup>※1</sup> の高利回り社債 <sup>※2</sup> および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1アジア諸国とは、運用委託先がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&amp;P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。為替ヘッジは行いません。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

〈お問い合わせ先〉

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorgan.com/jp/am/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%	%	%	百万円	
84期(2018年12月10日)	11,947		72		△1.0	94.2	—	18,971	
85期(2019年1月9日)	11,562		65		△2.7	96.1	—	16,997	
86期(2019年2月12日)	12,069		73		5.0	92.6	—	17,163	
87期(2019年3月11日)	12,244		62		2.0	96.5	—	15,786	
88期(2019年4月9日)	12,462		66		2.3	95.4	—	15,251	
89期(2019年5月9日)	12,311		67		△0.7	92.0	—	14,446	
90期(2019年6月10日)	12,082		69		△1.3	93.2	—	13,963	
91期(2019年7月9日)	12,302		62		2.3	94.9	—	14,017	
92期(2019年8月9日)	11,795		69		△3.6	91.4	—	13,332	
93期(2019年9月9日)	11,814		64		0.7	92.3	—	13,344	
94期(2019年10月9日)	11,877		64		1.1	94.4	—	12,994	
95期(2019年11月11日)	12,160		72		3.0	94.1	—	13,083	
96期(2019年12月9日)	12,088		43		△0.2	92.9	—	13,040	
97期(2020年1月9日)	12,263		68		2.0	91.3	—	13,384	
98期(2020年2月10日)	12,283		67		0.7	92.3	—	13,544	
99期(2020年3月9日)	11,320		60		△7.4	93.0	—	12,477	
100期(2020年4月9日)	10,705		66		△4.8	91.7	—	11,796	
101期(2020年5月11日)	10,844		68		1.9	91.8	—	11,899	
102期(2020年6月9日)	11,431		60		6.0	92.5	—	12,457	
103期(2020年7月9日)	11,432		60		0.5	94.0	—	12,457	
104期(2020年8月11日)	11,474		66		0.9	94.1	—	12,503	
105期(2020年9月9日)	11,502		58		0.7	93.8	—	12,533	
106期(2020年10月9日)	11,438		59		△0.0	94.3	—	12,343	
107期(2020年11月9日)	11,166		60		△1.9	94.5	—	11,981	
108期(2020年12月9日)	11,375		58		2.4	94.5	—	12,124	
109期(2021年1月12日)	11,346		66		0.3	94.2	—	11,951	
110期(2021年2月9日)	11,405		52		1.0	94.9	—	11,961	
111期(2021年3月9日)	11,765		53		3.6	93.9	—	12,166	
112期(2021年4月9日)	11,861		63		1.4	95.3	—	11,864	
113期(2021年5月10日)	11,725		59		△0.6	95.4	—	11,707	

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第108期	(期 首) 2020年11月9日	円 11,166	% —		% 94.5		% —
	11月末	11,324	1.4		94.7		—
	(期 末) 2020年12月9日	11,433	2.4		94.5		—
第109期	(期 首) 2020年12月9日	11,375	—		94.5		—
	12月末	11,373	△0.0		94.1		—
	(期 末) 2021年1月12日	11,412	0.3		94.2		—
第110期	(期 首) 2021年1月12日	11,346	—		94.2		—
	1月末	11,448	0.9		95.0		—
	(期 末) 2021年2月9日	11,457	1.0		94.9		—
第111期	(期 首) 2021年2月9日	11,405	—		94.9		—
	2月末	11,602	1.7		95.0		—
	(期 末) 2021年3月9日	11,818	3.6		93.9		—
第112期	(期 首) 2021年3月9日	11,765	—		93.9		—
	3月末	12,018	2.2		94.7		—
	(期 末) 2021年4月9日	11,924	1.4		95.3		—
第113期	(期 首) 2021年4月9日	11,861	—		95.3		—
	4月末	11,797	△0.5		93.9		—
	(期 末) 2021年5月10日	11,784	△0.6		95.4		—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期首から2020年12月にかけては、米国で追加経済対策が成立したことや、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴い景気が回復するとの見方が広がったことなどを背景に上昇しました。
- ◆2021年1月以降は、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン普及の動向に加え、米国の追加経済対策の成立、FRB(米連邦準備制度理事会)による金融緩和の長期化観測などが市場の変動要因となった中、アジア・ハイ・イールド債券市場は一進一退の動きが続きましたが、作成期末にかけては再び上昇して取引を終えました。
- ◆当作成期中は、景気下支えのため、インドネシアやフィリピンなどで利下げが発表されました。

\*市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate (米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

### ◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で上昇しました。

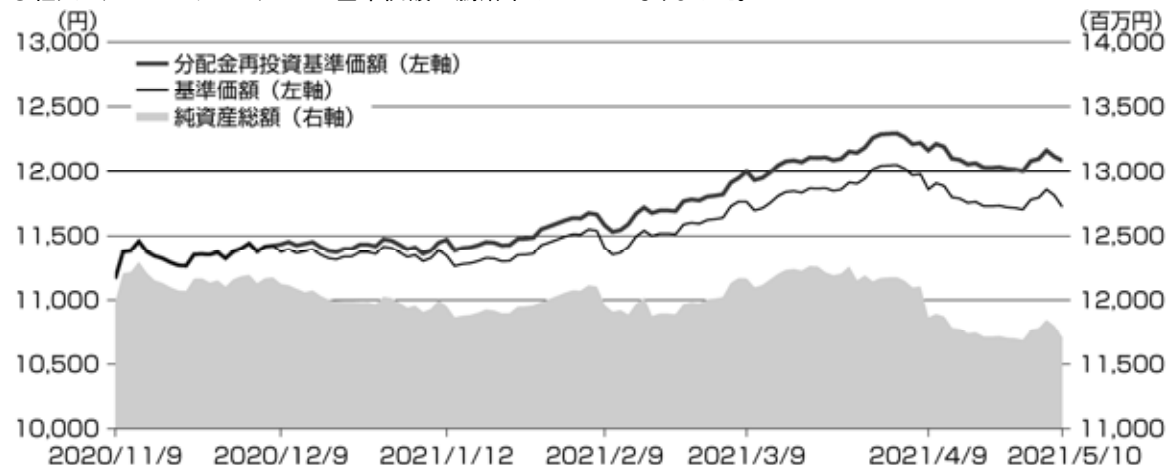
- ◆2020年12月にかけては、米国で新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことを受けて米ドルが対円で軟調に推移したものの、2021年1月以降はワクチン普及や米追加経済対策の成立による米長期金利上昇などを背景に米ドルは上昇しました。
- ◆4月以降は、米金融緩和の長期化観測が強まったことや、対ロシア追加金融制裁により米口関係の悪化が懸念され、米国債に対する需要が高まって米長期金利が低下したことなどから、米ドルは下落基調で推移しました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド:基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+8.2%となりました。

○組入ファンド:マザーファンドの基準価額の騰落率は+8.6%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、米ドルの対円での上昇や保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

## ◎ポートフォリオについて

### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

### ○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で351円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆4月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で政策金利の据え置きと資産購入の継続が決定されたほか、経済見通しについては、重大なリスクがあるとした前回のFOMCの声明を修正していることから、FRBは、景気が改善方向に向かい、不測の事態による腰折れの可能性が低いと判断していると考えます。
- ◆中国では過剰債務が問題となっている中、国有の不良債権受け皿会社の債務不履行の懸念が高まりましたが、政府が支援を継続したことなどから、同社への懸念が和らぎ、債券市場は落ち着きを取り戻し、発行市場も徐々に再開してきています。
- ◆インドでは、新型コロナウイルスの感染状況が懸念されていますが、インドの社債は比較的底堅い展開となっています。一部で格下げの観測が出ていますが、格付け会社は当面は事態を静観すると見えています。
- ◆各国の経済指標が改善傾向を示していることから、2021年及び2022年は景気の回復基調が継続すると予想しています。アジア・ハイ・イールド債券については、現在の価格水準で、リスクに見合った十分な利回りが得られると思われることなどを背景に、引き続き投資妙味があると考えます。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。



○1万口当たりの費用明細

(2020年11月10日～2021年5月10日)

項 目	第108期～第113期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 41	% 0.351	(a) 信託報酬 = [ 当作成期中の平均基準価額 ] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(38)	(0.329)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 1 )	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b) その他費用 = $\frac{[ 当作成期中のその他費用 ]}{[ 当作成期中の平均受益権口数 ]}$
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.006)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	43	0.368	
当作成期中の平均基準価額は、11,593円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2020年11月10日～2021年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第108期～第113期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 6,818	千円 17,000	千口 523,573	千円 1,296,826

(注) 単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年11月10日～2021年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年11月10日～2021年5月10日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年11月10日～2021年5月10日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2021年5月10日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第107期末		第113期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			5,130,417		4,613,661	11,774,064

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

## ○投資信託財産の構成

(2021年5月10日現在)

項	目	第113期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		11,774,064	100.0
投資信託財産総額		11,774,064	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(12,733,247千円)の投資信託財産総額(12,891,235千円)に対する比率は98.8%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.77円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末
	2020年12月9日現在	2021年1月12日現在	2021年2月9日現在	2021年3月9日現在	2021年4月9日現在	2021年5月10日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>12,193,345,666</b>	<b>12,028,770,357</b>	<b>12,022,269,696</b>	<b>12,228,455,605</b>	<b>12,056,724,431</b>	<b>11,774,064,691</b>
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	12,193,345,666	12,028,770,357	12,022,269,696	12,228,455,605	11,934,724,431	11,774,064,691
未収入金	—	—	—	—	122,000,000	—
<b>(B) 負債</b>	<b>69,067,711</b>	<b>77,639,893</b>	<b>61,204,427</b>	<b>61,478,345</b>	<b>192,532,080</b>	<b>66,174,579</b>
未払収益分配金	61,820,749	69,521,990	54,536,681	54,812,004	63,015,574	58,915,099
未払解約金	—	—	—	—	122,000,000	—
未払信託報酬	7,027,365	7,871,917	6,465,702	6,464,341	7,288,743	7,039,504
その他未払費用	219,597	245,986	202,044	202,000	227,763	219,976
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>12,124,277,955</b>	<b>11,951,130,464</b>	<b>11,961,065,269</b>	<b>12,166,977,260</b>	<b>11,864,192,351</b>	<b>11,707,890,112</b>
元本	10,658,749,993	10,533,634,871	10,487,823,365	10,341,887,692	10,002,472,143	9,985,610,158
次期繰越損益金	1,465,527,962	1,417,495,593	1,473,241,904	1,825,089,568	1,861,720,208	1,722,279,954
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>10,658,749,993口</b>	<b>10,533,634,871口</b>	<b>10,487,823,365口</b>	<b>10,341,887,692口</b>	<b>10,002,472,143口</b>	<b>9,985,610,158口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	11,375円	11,346円	11,405円	11,765円	11,861円	11,725円

<注記事項>

期首元本額	10,730,812,460円	10,658,749,993円	10,533,634,871円	10,487,823,365円	10,341,887,692円	10,002,472,143円
期中追加設定元本額	0円	0円	0円	14,603,557円	0円	0円
期中一部解約元本額	72,062,467円	125,115,122円	45,811,506円	160,539,230円	339,415,549円	16,861,985円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	329,408円	368,998円	303,079円	303,019円	341,659円	329,978円
未払委託者報酬	6,697,957円	7,502,919円	6,162,623円	6,161,322円	6,947,084円	6,709,526円

## ○損益の状況

項 目	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
	2020年11月10日～ 2020年12月9日	2020年12月10日～ 2021年1月12日	2021年1月13日～ 2021年2月9日	2021年2月10日～ 2021年3月9日	2021年3月10日～ 2021年4月9日	2021年4月10日～ 2021年5月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	292,308,944	46,810,078	123,115,694	433,481,021	167,061,519	△ 70,127,299
売買益	293,847,555	47,088,843	123,209,048	434,919,654	172,762,555	—
売買損	△ 1,538,611	△ 278,765	△ 93,350	△ 1,438,633	△ 5,701,036	△ 70,127,299
(B) 信託報酬等	△ 7,246,962	△ 8,117,903	△ 6,667,746	△ 6,666,341	△ 7,516,506	△ 7,259,480
(C) 当期損益金(A+B)	285,061,982	38,692,175	116,447,952	426,814,680	159,545,013	△ 77,386,779
(D) 前期繰越損益金	△2,427,022,338	△2,177,912,840	△2,199,136,406	△2,104,509,843	△1,675,646,891	△1,576,455,471
(E) 追加信託差損益金	3,669,309,067	3,626,238,248	3,610,467,039	3,557,596,735	3,440,837,660	3,435,037,303
(配当等相当額)	( 5,074,440,721)	( 5,014,876,287)	( 4,993,065,622)	( 4,923,734,606)	( 4,762,169,263)	( 4,754,141,484)
(売買損益相当額)	(△1,405,131,654)	(△1,388,638,039)	(△1,382,598,583)	(△1,366,137,871)	(△1,321,331,603)	(△1,319,104,181)
(F) 計(C+D+E)	1,527,348,711	1,487,017,583	1,527,778,585	1,879,901,572	1,924,735,782	1,781,195,053
(G) 収益分配金	△ 61,820,749	△ 69,521,990	△ 54,536,681	△ 54,812,004	△ 63,015,574	△ 58,915,099
次期繰越損益金(F+G)	1,465,527,962	1,417,495,593	1,473,241,904	1,825,089,568	1,861,720,208	1,722,279,954
追加信託差損益金	3,669,309,067	3,626,238,248	3,610,467,039	3,557,596,735	3,440,837,660	3,435,037,303
(配当等相当額)	( 5,074,440,721)	( 5,014,876,287)	( 4,993,065,622)	( 4,923,765,518)	( 4,762,169,263)	( 4,754,141,484)
(売買損益相当額)	(△1,405,131,654)	(△1,388,638,039)	(△1,382,598,583)	(△1,366,168,783)	(△1,321,331,603)	(△1,319,104,181)
分配準備積立金	120,049,262	109,186,328	105,686,685	103,456,078	96,087,528	88,307,258
繰越損益金	△2,323,830,367	△2,317,928,983	△2,242,911,820	△1,835,963,245	△1,675,204,980	△1,801,064,607

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第108期計算期間末における費用控除後の配当等収益は5,256,310,732円(10,000口当たり4,931円)であり、うち61,820,749円(10,000口当たり58円)を分配金額としております。

(注) 第109期計算期間末における費用控除後の配当等収益は6,068,209円、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,014,876,287円)および分配準備積立金(118,640,109円)より分配対象収益は5,193,584,605円(10,000口当たり4,930円)であり、うち69,521,990円(10,000口当たり66円)を分配金額としております。

(注) 第110期計算期間末における費用控除後の配当等収益(51,511,910円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,993,065,622円)および分配準備積立金(108,711,456円)より分配対象収益は5,153,288,988円(10,000口当たり4,913円)であり、うち54,536,681円(10,000口当たり52円)を分配金額としております。

(注) 第111期計算期間末における費用控除後の配当等収益(54,199,182円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,923,765,518円)および分配準備積立金(104,068,900円)より分配対象収益は5,082,033,600円(10,000口当たり4,914円)であり、うち54,812,004円(10,000口当たり53円)を分配金額としております。

(注) 第112期計算期間末における費用控除後の配当等収益(59,042,416円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,762,169,263円)および分配準備積立金(100,060,686円)より分配対象収益は4,921,272,365円(10,000口当たり4,920円)であり、うち63,015,574円(10,000口当たり63円)を分配金額としております。

(注) 第113期計算期間末における費用控除後の配当等収益(51,296,806円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,754,141,484円)および分配準備積立金(95,925,549円)より分配対象収益は4,901,363,841円(10,000口当たり4,908円)であり、うち58,915,099円(10,000口当たり59円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
受託者報酬	329,408円	368,998円	303,079円	303,019円	341,659円	329,978円
委託者報酬	6,697,957円	7,502,919円	6,162,623円	6,161,322円	6,947,084円	6,709,526円

## ○分配金のお知らせ

	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期
1万円当たり分配金(税込み)	58円	66円	52円	53円	63円	59円

# GIMアジア・ハイ・イールド 債券マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 第 19 期 運用報告書

(決算日: 2021年5月10日)

(計算期間: 2020年11月10日~2021年5月10日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
運 用 方 針	安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
15期(2019年5月9日)	円 23,250	%	5.2	% 91.5	% -	百万円 15,645
16期(2019年11月11日)	23,828		2.5	93.5	-	14,377
17期(2020年5月11日)	22,025	△7.6	6.7	91.2	-	12,981
18期(2020年11月9日)	23,494		8.6	94.0	-	13,092
19期(2021年5月10日)	25,520			94.8	-	12,748

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首) 2020年11月9日	円 23,494	%	-	% 94.0	% -	-
11月末	23,837		1.5	94.6	-	-
12月末	24,076		2.5	94.1	-	-
2021年1月末	24,391		3.8	95.0	-	-
2月末	24,846		5.8	95.0	-	-
3月末	25,869		10.1	94.7	-	-
4月末	25,544		8.7	93.9	-	-
(期 末) 2021年5月10日	25,520		8.6	94.8	-	-

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆期首から2020年12月にかけては、米国で追加経済対策が成立したことや、新型コロナウイルスのワクチン普及に伴い景気が回復するとの見方が広がったことなどを背景に上昇しました。
- ◆2021年1月以降は、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン普及の動向に加え、米国の追加経済対策の成立、FRB(米連邦準備制度理事会)による金融緩和の長期化観測などが市場の変動要因となった中、アジア・ハイ・イールド債券市場は一進一退の動きが続きましたが、期末にかけては再び上昇して取引を終えました。
- ◆当期中は、景気下支えのため、インドネシアやフィリピンなどで利下げが発表されました。

\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

### ◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で上昇しました。

- ◆2020年12月にかけては、米国で新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したことなどをを受けて米ドルが対円で軟調に推移したものの、2021年1月以降はワクチン普及や米追加経済対策の成立による米長期金利上昇などを背景に米ドルは上昇しました。
- ◆4月以降は、米金融緩和の長期化観測が強まったことや、対ロシア追加金融制裁により米口関係の悪化が懸念され、米国債に対する需要が高まって米長期金利が低下したことなどから、米ドルは下落基調で推移しました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+8.6%となりました。



### ◎基準価額の主な変動要因

米ドルの対円での上昇や保有債券の価格上昇などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

### ◎ポートフォリオについて

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆4月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で政策金利の据え置きと資産購入の継続が決定されたほか、経済見通しについては、重大なリスクがあるとした前回のFOMCの声明を修正していることから、FRBは、景気が改善方向に向かい、不測の事態による腰折れの可能性が低いと判断していると考えます。
- ◆中国では過剰債務が問題となっている中、国有の不良債権受け皿会社の債務不履行の懸念が高まりましたが、政府が支援を継続したことなどから、同社への懸念が和らぎ、債券市場は落ち着きを取り戻し、発行市場も徐々に再開してきています。
- ◆インドでは、新型コロナウイルスの感染状況が懸念されていますが、インドの社債は比較的底堅い展開となっています。一部で格下げの観測が出ていますが、格付け会社は当面は事態を静観すると見えています。
- ◆各国の経済指標が改善傾向を示していることから、2021年及び2022年は景気の回復基調が継続すると予想しています。アジア・ハイ・イールド債券については、現在の価格水準で、リスクに見合った十分な利回りが得られると思われることなどを背景に、引き続き投資妙味があると考えます。

### ◎今後の運用方針

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

### ○1万口当たりの費用明細

(2020年11月10日～2021年5月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	2	0.006
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.006)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	2	0.006
期中の平均基準価額は、24,760円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2020年11月10日～2021年5月10日)

## 公社債

		買付額		売付額	
		千米ドル		千米ドル	
外国	アメリカ	国債証券	363		321
		特殊債券	2,543		1,232
		社債券	18,656		14,006
					(14,185)

(注)金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注)社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注)下段に( )がある場合は一部償還金または利金の額面への追加・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注)外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年11月10日～2021年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年11月10日～2021年5月10日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2021年5月10日現在)

下記は、アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド全体(4,995,534千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	111,700	111,150	12,089,889	94.8	91.9	30.0	26.3	38.4
合 計	111,700	111,150	12,089,889	94.8	91.9	30.0	26.3	38.4

(注)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の中値により邦貨換算したものです。

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注)額面・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注)債券の格付については、原則としてS&amp;PまたはMoody'sが提供する格付を使用し、仕組み債等、格付の提供がなされていないものについては、委託会社による判断を基にしております。

なお、上記の格付機関が異なる格付を提供している場合は、低い方を採用しております。

(注)区分の内訳は、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。



## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期末				償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	SRILANKA5.75% APR23 REGS	5.75	500	373	40,646	2023/4/18
特殊債券 (除く金融債)	CCB LIFE INSURANCE VAR	4.5	500	500	54,424	2077/4/21
	CHALIECO VAR	5.0	700	704	76,579	2049/12/29
	HBIS GRP HK 3.75%	3.75	1,900	1,828	198,869	2022/12/18
	KUNMING TRAFFIC6.2% EMTN	6.2	1,300	1,293	140,679	2022/6/27
	PERUSAHAAN 4% REGS	4.0	600	584	63,608	2050/6/30
	PERUSAHAAN 6.15% REGS	6.15	200	247	26,950	2048/5/21
	SAKA ENERGI 4.45% REGS	4.45	400	332	36,206	2024/5/5
	YANZHOU COAL 3.5%	3.5	400	401	43,695	2023/11/4
普通社債券	ABJA INVESTMENT 5.45%	5.45	1,800	1,874	203,862	2028/1/24
	AGILE GRP HLDGS VAR	6.875	1,800	1,821	198,125	2049/9/29
	AZURE POWER 5.5% REGS	5.5	1,000	1,017	110,657	2022/11/3
	AZURE POWER 5.65% REGS	5.65	800	848	92,312	2024/12/24
	BANGKOK BANK VAR REGS	5.0	400	420	45,741	2049/3/29
	BANK TABUNGAN 4.2%	4.2	1,900	1,927	209,676	2025/1/23
	BK EAST ASIA VAR EMTN 4	5.825	1,000	1,071	116,519	2049/4/29
	CAS CAPITAL VAR	4.0	1,900	1,898	206,491	2049/12/29
	CASTLE PEAK 2.125% EMTN	2.125	300	290	31,624	2031/3/3
	CHAMPION PATH 4.85%	4.85	500	526	57,288	2028/1/27
	CHAMPION VAR	8.125	400	413	44,925	2049/8/29
	CHANPION PATH 4.5%	4.5	300	313	34,085	2026/1/27
	CHINA AOYUAN 5.375%	5.375	1,000	989	107,646	2022/9/13
	CHINA EVERGRANDE 6.25%	6.25	200	199	21,668	2021/6/28
	CHINA EVERGRANDE 8.9%	8.9	600	598	65,153	2021/5/24
	CHINA OIL&GAS 4.625%	4.625	1,600	1,615	175,690	2022/4/20
	CHINA OIL&GAS 5.5%	5.5	600	617	67,168	2023/1/25
	CHONG HING BANK VAR EMTN	5.7	300	312	33,979	2049/7/29
	CK HUTCHISON 3.375% REGS	3.375	500	515	56,024	2050/5/8
	CONTINUUM ENERGY4.5%REGS	4.5	600	608	66,240	2027/2/9
	COUNTRY GARDEN 5.125%	5.125	200	212	23,116	2027/1/14
	COUNTRY GARDEN 6.15%	6.15	2,300	2,528	275,005	2025/9/17
	EASY TACTIC 8.125%	8.125	1,300	1,254	136,450	2023/2/27
	EASY TACTIC 8.125% 24	8.125	500	455	49,532	2024/7/11
	ENNCLEANENERGY3.375%REGS	3.375	500	504	54,820	2026/5/12
	EXPAND LEAD 6.4%	6.4	1,400	1,418	154,236	2021/9/18
	FORTUNE STAR 5.95%	5.95	1,900	1,945	211,593	2023/1/29
	FORTUNE STAR 6.75%	6.75	800	837	91,065	2023/7/2
	FWD GRP VAR EMTN	—	2,800	2,568	279,387	2049/12/29
	FWD VAR 49	5.5	2,800	2,757	299,981	2049/2/28
	GEMDALE 4.95%	4.95	1,100	1,111	120,868	2022/7/26
	GEMSTONES INTL 12%	12.0	2,800	2,784	302,853	2023/3/10
GLP CHINA 2.95% EMTN	2.95	300	302	32,879	2026/3/29	
GOHL CAPITAL 4.25%	4.25	700	740	80,559	2027/1/24	

銘柄		当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	普通社債券					
	GOLDEN EAGLE 4.625% REGS	4.625	2,500	2,540	276,311	2023/5/21
	GREENKO 3.85% REGS	3.85	700	712	77,508	2026/3/29
	GREENKO 6.25% REGS	6.25	1,600	1,649	179,423	2023/2/21
	GREENKO SOLAR 5.55% REGS	5.55	500	514	56,014	2025/1/29
	GREENLAND GLB 6.25% EMTN	6.25	1,100	1,078	117,297	2022/12/16
	GREENLAND GLB 6.75% EMTN	6.75	700	671	73,012	2022/6/25
	GREENLAND HK 6%	6.0	1,200	1,194	129,904	2021/7/17
	HEJUN SHUNZE 11%	11.0	2,700	1,505	163,805	2022/6/4
	HK RED STAR 3.375%	3.375	1,700	1,480	161,066	2022/9/21
	HOPSON DEVELOPMENT 7.5%	7.5	2,700	2,757	299,896	2022/6/27
	HPCL MITTAL ENERGY 5.25%	5.25	600	602	65,521	2027/4/28
	INDIA GREEN 5.375% REGS	5.375	450	469	51,115	2024/4/29
	INDIA GREEN POWE 4% REGS	4.0	950	949	103,272	2027/2/22
	INDIKA ENERGY 8.25% REGS	8.25	1,000	1,073	116,803	2025/10/22
	INDIKA ENERGY5.875% REGS	5.875	500	506	55,122	2024/11/9
	JSW STEEL 5.375%	5.375	1,100	1,163	126,598	2025/4/4
	KRUNG THAI BANK VAR	4.4	1,500	1,508	164,107	2049/12/29
	KWG PROPERTY 7.875%	7.875	500	505	55,030	2021/8/9
	KWG PROPERTY 7.875% 23	7.875	700	723	78,698	2023/9/1
	LISTRINDO 4.95% REGS	4.95	700	719	78,210	2026/9/14
	MEDCO BELL 6.375% REGS	6.375	200	206	22,417	2027/1/30
	MEDCO PLATINUM6.75% REGS	6.75	2,500	2,639	287,068	2025/1/30
	MELCO RESORTS5.625% REGS	5.625	300	317	34,539	2027/7/17
	NEW METRO GLOBAL 4.5%	4.5	500	490	53,336	2026/5/2
	NEW METRO GLOBAL 4.8%	4.8	200	200	21,781	2024/12/15
	NEW METRO GLOBAL 6.5%	6.5	1,300	1,325	144,125	2022/5/20
	NEW METRO GLOBAL 7.5%	7.5	600	612	66,664	2021/12/16
	NWD MTN 4.125%	4.125	900	928	100,982	2029/7/18
	PETRON VAR	4.6	1,800	1,803	196,173	2049/1/29
	POWERLONG 4.875%	4.875	1,100	1,102	119,952	2021/9/15
	POWERLONG 5.95%	5.95	200	207	22,618	2025/4/30
	POWERLONG 7.125%	7.125	500	521	56,677	2022/11/8
	PT ADARO 4.25% REGS	4.25	500	515	56,017	2024/10/31
	RED SUN 10.5%	10.5	200	209	22,840	2022/10/3
	RED SUN 9.7%	9.7	200	208	22,730	2023/4/16
	RED SUN 9.95%	9.95	700	725	78,897	2022/4/11
	RENEW POWER 6.67% REGS	6.67	1,200	1,258	136,917	2024/3/12
	RIZAL COMMERCIAL BK VAR	6.5	2,600	2,671	290,621	2049/2/28
	RKPF OVERSEAS 5.2%	5.2	600	604	65,804	2026/1/12
	RKPF OVERSEAS 6.7%	6.7	1,900	2,014	219,170	2024/9/30
	RONGXINGDA 8%	8.0	2,100	1,812	197,091	2022/4/24
	RONSHINE 7.35%	7.35	300	289	31,491	2023/12/15
	RONSHINE 8.1%	8.1	200	197	21,469	2023/6/9
	RONSHINE 8.75%	8.75	500	505	54,958	2022/10/25
	RONSHINE 8.95%	8.95	1,500	1,513	164,595	2023/1/22

銘柄	当	期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
	%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ						
普通社債券	RONSHINE CHINA 10.5%	10.5	200	203	22,186	2022/3/1
	ROYAL CAPITAL 5.875%	5.875	700	720	78,344	2049/1/29
	ROYAL CAPITAL VAR	4.875	500	518	56,430	2049/10/29
	SCENERY JOURNEY 11.5%	11.5	1,400	1,344	146,273	2022/10/24
	SD IRON & STEEL 6.5%	6.5	1,300	1,293	140,708	2021/6/14
	SD IRON & STEEL 6.5% 23	6.5	500	501	54,517	2023/11/5
	SHUI ON DEV 5.5%	5.5	1,200	1,215	132,240	2025/3/3
	SHUI ON DEV VAR	6.4	1,500	1,519	165,243	2049/6/29
	SMC GLOBAL POWER VAR	6.5	300	309	33,636	2049/12/29
	SMC GLOBAL POWER VAR 1	5.95	500	511	55,635	2049/5/29
	SMC GLOBAL POWER VAR 4	7.0	1,300	1,384	150,579	2049/4/29
	STUDIO CITY FIN 5% REGS	5.0	200	205	22,307	2029/1/15
	STUDIO CITY FIN 6% REGS	6.0	1,900	2,011	218,818	2025/7/15
	SUNAC CHINA 6.5%	6.5	700	718	78,198	2023/7/9
	SUNAC CHINA 6.5% 26	6.5	300	304	33,080	2026/1/26
	SUNAC CHINA 6.65%	6.65	200	207	22,554	2024/8/3
	SUNAC CHINA 7.25%	7.25	200	206	22,475	2022/6/14
	SUNAC CHINA 8.35%	8.35	700	729	79,373	2023/4/19
	THAI OIL TRSRY 4.875% REG	4.875	200	215	23,473	2043/1/23
	TIMES CHINA 5.75%	5.75	500	482	52,534	2027/1/14
	TIMES PROPERTY 5.75%	5.75	2,000	2,019	219,626	2022/4/26
	VEDANTA 6.375% REGS	6.375	1,100	1,082	117,709	2022/7/30
	YANGO JUSTICE 10.25%	10.25	1,500	1,545	168,056	2022/3/18
	YANGO JUSTICE 9.25%	9.25	200	206	22,456	2023/4/15
	YANLORD LAND 6.8%	6.8	400	418	45,558	2024/2/27
	YUZHONG PRPTY 6% 23	6.0	1,300	1,181	128,550	2023/10/25
	YUZHONG PRPTY 6.35%	6.35	200	164	17,917	2027/1/13
	YUZHONG PRPTY 7.375%	7.375	300	251	27,384	2026/1/13
	YUZHONG PRPTY VAR	5.375	1,000	895	97,453	2049/9/29
合 計		—	—	—	12,089,889	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。なお、表示単位未満の場合は小数で記載しております。

(注) 株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

(注) 銘柄の内訳は、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2021年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,089,889	93.8
コール・ローン等、その他	801,346	6.2
投資信託財産総額	12,891,235	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(12,733,247千円)の投資信託財産総額(12,891,235千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.77円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年5月10日現在)

## ○損益の状況 (2020年11月10日～2021年5月10日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,961,176,447
コール・ローン等	625,596,729
公社債(評価額)	12,089,889,646
未収入金	70,000,000
未収利息	168,631,358
前払費用	7,058,714
(B) 負債	212,379,694
未払金	212,379,694
(C) 純資産総額(A-B)	12,748,796,753
元本	4,995,534,150
次期繰越損益金	7,753,262,603
(D) 受益権総口数	4,995,534,150口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,520円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	398,177,045
受取利息	396,926,190
その他収益金	1,250,855
(B) 有価証券売買損益	687,059,999
売買益	965,131,315
売買損	△ 278,071,316
(C) その他費用等	△ 799,117
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,084,437,927
(E) 前期繰越損益金	7,519,650,669
(F) 追加信託差損益金	27,244,723
(G) 解約差損益金	△ 878,070,716
(H) 計(D+E+F+G)	7,753,262,603
次期繰越損益金(H)	7,753,262,603

&lt;注記事項&gt;

期首元本額 5,572,436,805円

期中追加設定元本額 18,932,228円

期中一部解約元本額 595,834,883円

元本の内訳

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) 4,613,661,713円

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) 381,872,437円

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈参考情報〉

クレディ・スイス・アジアCBファンド

〈当ファンドの仕組みは次の通りです〉

運用会社	クレディ・スイス・インベストメント・パートナーズ (スイス) リミテッド
投資対象	アジア (除く日本) のCB
投資方針	転換社債 (CB) への投資を通じて、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
投資態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 銘柄選定にあたっては、利回りに加え、発行体リスク、流動性を踏まえ、組入銘柄および組入比率を決定します。</li> <li>2. 特に信用リスクや流動性などを踏まえ、アジア (除く日本) のCB市場において相対的に投資利回りが高いと判断される銘柄に投資を行います。</li> </ol>
通貨クラス	<p>(円ヘッジクラス)</p> <p>外貨建資産 (米ドル以外の資産については、原則として米ドルを用いて間接的に為替ヘッジを行います。) について、原則として円で為替ヘッジを行う円建て投資信託証券を発行します。</p> <p>(ヘッジなしクラス)</p> <p>外貨建資産について、対円での為替ヘッジを行わない円建て投資信託証券を発行します。</p>
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワラント債、ワラント、優先株 (株式転換権付)、シンセティック転換社債、その他のオプションの付与された債券等、上場株、MMF等に投資を行うことがあります。</li> <li>2. 原則として、空売りおよびレバレッジをかけた運用は行いません。</li> <li>3. 原則として、先物、オプション、スワップ等を用いた為替変動リスク、金利変動リスクのヘッジは行いません。</li> <li>4. 一発行体に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとします。</li> <li>5. ファンドの純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</li> </ol>
申込手数料	ありません。
運用報酬等	<p>運用報酬：年率0.60%</p> <p>管理・事務費用：年率0.06%</p>
その他費用	<p>受託費用 (年間10,000米ドル)、保管費用、信託財産に関する租税、組入有価証券等の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、トラスト設立費用 (当該費用に関しては、原則として当初5年間の間に償却される予定です。) 等が信託財産から支払われます。</p>

クレディ・スイス・アジアCBファンド

以下は、クレディ・スイス・アジアCBファンドの監査済報告書の一部を、岡三アセットマネジメントが翻訳したものです。岡三アセットマネジメントは正確性、完全性を保証するものではありません。

収入および支出の計算書

自 2019年1月1日 至 2019年12月31日

費用	
運用報酬	12,086,988
事務管理報酬	9,716,725
監査報酬	4,311,093
通貨管理代理手数料	2,180,802
保管費用	1,949,544
受託者報酬	1,077,407
名義書換代理人費用	955,688
支払利息	922,032
設立費用	866,786
登録料	188,544
その他報酬	235,251
費用合計	34,490,860
純投資損益	△ 34,490,860
実現損益	
投資有価証券	10,066,560
為替予約取引	2,106,687
外貨取引	△ 1,909,087
純実現損益	10,264,160
未実現損益	
投資有価証券	133,602,464
為替予約取引	△ 4,826,652
外貨取引	1,131,258
純未実現損益	129,907,070
投資および外貨からの純実現損益および純未実現損益	140,171,230
当期純損益	105,680,370

クレディ・スイス・アジアCBファンド

組入銘柄

銘柄名	利率	償還日	評価額	比率
	%		円	%
COUNTRY GARDEN 4.5% 2023	4.500	2023/12/5	104,991,341	5.49
CHINA OVERSEAS 0% 2023	0.000	2023/1/5	96,793,313	5.06
LENOVO GROUP 3.375% 2024	3.375	2024/1/24	92,819,629	4.85
POSTAL SAVINGS-H 0% 2025	0.000	2025/2/1	89,547,443	4.68
HAIER ELECTRONIC 0% 2022	0.000	2022/11/21	87,187,957	4.56
UMC 0% 2020	0.000	2020/5/18	76,348,378	3.99
PING AN 0% 2020	0.000	2020/12/30	75,406,321	3.94
SMIC 0% 2022	0.000	2022/7/7	72,174,674	3.77
VINGROUP JSC 3.5% 2023	3.500	2023/6/14	70,620,876	3.69
LG DISPLAY CO LT 1.5% 2024	1.500	2024/8/22	68,943,201	3.61
ZHONGSHENG GROUP 0% 2023	0.000	2023/5/23	65,948,814	3.45
CONCH VENTURE 0% 2023	0.000	2023/9/5	60,001,519	3.14
CHINA RAIL CN-H 0% 2021	0.000	2021/1/29	56,574,674	2.96
BIZLINK HOLDING 0% 2023	0.000	2023/2/1	55,838,485	2.92
LINK REIT 1.6% 2024	1.600	2024/4/3	54,950,346	2.87
ASIA CEMENT CORP 0% 2023	0.000	2023/9/21	54,595,946	2.86
TAIWAN CEMENT 0% 2023	0.000	2023/12/10	53,514,912	2.80
CHINA EVERGRAND 4.25% 2023	4.250	2023/2/14	50,792,463	2.66
LG CHEM LTD 0% 2021	0.000	2021/4/16	48,805,253	2.55
ZHEJIANGEXPRE-H 0% 2022	0.000	2022/4/21	48,299,387	2.53
LUYE PHARMA GROU 1.5% 2024	1.500	2024/7/9	45,976,479	2.40
CHINA MODERN DAI 0% 2022	0.000	2022/6/5	43,709,069	2.29
3SBIO INC 0% 2022	0.000	2022/7/21	41,560,584	2.17
CAPITALAND LTD 2.8% 2025	2.800	2025/6/8	40,840,510	2.14
CCB-H 0% 2021	0.000	2021/11/9	38,670,830	2.02
LOTTE HIMART 0% 2023	0.000	2023/4/4	36,644,880	1.92
CHINA EDUCATION 2% 2024	2.000	2024/3/28	28,527,249	1.49
ANGANG STEEL-H 0% 2023	0.000	2023/5/25	26,906,818	1.41
WUAPPTEC CO LT-H 0% 2024	0.000	2024/9/17	24,628,571	1.29
KAKAO CORP 0% 2021	0.000	2021/5/11	22,862,359	1.20
POSTAL SAVINGS-H 0% 2022	0.000	2022/8/9	22,832,662	1.19
TRIP.COM GRO-ADR 1.99% 2025	1.990	2025/7/1	22,817,884	1.19
CITIC SEC-H 0% 2023	0.000	2023/2/8	21,896,010	1.15
SINGHA ESTATE PC 2% 2022	2.000	2022/7/20	21,055,640	1.10
LG CHEM LTD 0% 2021	0.000	2021/4/16	21,022,081	1.10
SUNTEC REIT 1.75% 2024	1.750	2024/11/30	20,053,533	1.05
HUAZHU GROUP LTD 0.375% 2022	0.375	2022/11/1	12,158,559	0.64
合計			1,876,318,650	98.13

※比率は、クレディ・スイス・アジアCBファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

クレディ・スイス・アジアCBファンド

各クラスの状況

作成基準日：2019年12月31日

	基準価額	純資産総額
	円	円
クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス)	9,434	146,523,524
クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス)	9,923	1,765,646,142
		円
クレディ・スイス・アジアCBファンドの純資産総額		1,912,169,666